

岡山県カンボジアビジネスサポートデスク開設

カンボジアデスクからのご挨拶

初めまして、I-GLOCAL カンボジアの土肥と申します。この度、岡山県カンボジアビジネスサポートデスクを務めさせて頂く事となりました。私自身、岡山県倉敷市の出身であり、カンボジアの地から地元に対し貢献できる機会を頂けた事を大変嬉しく思っております。地方からも様々な規模・業種の企業による東南アジアへの進出が見られている昨今、カンボジアも一つの選択肢として間違いなく注目されております。カンボジア現地から、様々情報を提供させて頂く事によって、皆様のお役に立ちたいと考えております。何卒よろしくお願い致します。



左：土肥 右：Hangsa

多くの日本人にとっては、カンボジアの国はポルポト政権や地雷、貧困など負のイメージが強いのではないかと思います。確かにカンボジアは、植民地支配からの独立後も、長きにわたり内戦の混乱が続いた国でありました。日本で得られる情報は、地雷撤去や学校建設などの援助といった報道に偏り、今もなおカンボジアの貧困のイメージが定着していると感じます。

しかし実際には政治も治安も安定しており、カンボジアの近年の経済成長は目覚ましく、着実に成長への道を歩んでいます。リーマンショック時の2009年にはマイナス成長となったものの、2001年から2010年までの10年間で平均7.9%の経済成長を遂げています（IMF：実質経済成長率）。2011年にも2010年と同水準の6.5%の経済成長が予測されており、一人当たりGDPも900ドルに到達するとされています。特にプノンペンの街は整備され、街中は車やバイクで混雑し、お店には様々な贅沢品を含む輸入品であふれている状況で、貧困のイメージとは程遠くうつります。

経済成長とともに投資環境も整い、2010年度から、他国の人件費高騰・人材不足などを理由にカンボジアが製造業の新たな進出先として注目されはじめ、実際に急激に日系企業の進出が増えています。また、外資に対してオープンな政策をとっていることから（ほとんどの業種で100%外資での設立可）、新規市場開拓を目指し様々な業種の進出が見られています。カンボジアはこれまで縫製業を主産業として発展してきた国ですが、転換期を迎えている所と言えるでしょう。

今後各視点からカンボジア投資環境などに関して情報を提供させて頂き、カンボジア進出や事前調査など、現地からご支援させて頂きます。お気軽にデスクをご利用くださいますようお願い致します。

岡山県カンボジアビジネスサポートデスク概要

所在地：No.4, St.432, Sangkat Boeung Trobaek, Khan Chamkamon,
Phnom Penh, Cambodia

担当者：土肥 泰士（とひ たいじ）

対象エリア：カンボジア全域